

科目	動物臨床看護学各論Ⅱ（眼科他）		
担当講師 木下 あゆみ 実務経験有 動物病院院長 獣医療臨床暦 20年			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1年次後期	講義	必修	30
授業目標 (動物眼科学) 眼の構造と仕組みを理解し、眼科診療で行われる検査とその意義について学ぶ。また、眼科の代表的な疾患について理解し、眼科診療における、動物看護師の役割と看護のポイントを理解する。 (動物健康管理) 健康な犬猫に必要な食事管理、被毛管理、運動管理、排泄管理等の必要な知識を身につける。また、病気予防の為の健康チェックや健康診断の重要性を知る。さらに、ワクチネーションや不妊手術などの具体的な病気予防の知識を身につける。 授業概要 各疾病による身体的、精神的状況から適切な看護法を考察する。各疾病の特徴と急性、慢性などの経緯、個体情報の分析から看護に活かす。個体観察や飼主観察や飼主情報など様々な観点からの情報収集の必要性を理解できる。 内科、外科、皮膚科、眼科、歯科、疾患の回復に必要な事項を理解し看護法を身につける。			
成績評価の方法 評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。			
教材 動物看護コアテキスト5巻（ファームプレス）、動物看護実習テキスト（インターズー）			
授業計画 毎週水曜日 4限目 15:00～16:30（A班、B班）			
回	テーマ	授業内容	
1	眼科解剖を学ぶ、眼の構造と仕組みを理解する	眼の仕組み、眼瞼、角膜前眼房、虹彩毛様体、水晶体、硝子体など	
2	〃	〃	
3	眼科検査について、眼の検査について知識を得る	問診、視診、視覚検査、涙液量検査、眼圧検査、スリットランプ、眼底検査、生体染色試験など	
4	〃	〃	
5	眼の代表的な疾患について学ぶ	眼瞼疾患、乾性角結膜炎、角膜潰瘍、前部ぶどう膜炎 白内障、緑内障、瞬膜腺脱出、網膜疾患、その他	
6	〃	〃	
7	眼科診療での看護の役割とポイント	保定、眼瞼の開き方、点眼	
8	〃	〃	
9	眼科疾患についてのまとめ	全体的なまとめと小テストを行う	
10	〃	〃	
11	犬猫の飼育環境作り	犬猫を知り、室内飼いで必要なものや部屋作り	
12	〃	〃	
13	食べさせてはいけないもの	犬猫が生きていくうえでの食事管理	
14	〃	〃	
15	～排泄機能障害を持つ動物の看護～	基本的知識を学び、看護に展開させる	

16	〃	〃
17	輸液について	輸液の種類、準備について
18	〃	〃
19	担ガン動物の看護	担ガン動物についての知識を持ち、看護に展開させる
20	〃	〃
21	高齢動物の看護	高齢動物とは何かを知り、必要な看護知識を身につける
22	〃	〃
23	救急時の対応	救急時の役割について
24	〃	〃
25	伝染病について	感染経路を知る。そこからわかる感染予防の対策の仕方
26	〃	〃
27	まとめ	前期及び後期にならった事の復習
28	〃	〃